



後志地本 吉井執行委員長

3月12日（水）俱知安町労働福祉センターで、後志地方本部14春闘総決起集会を、20単組・総支部45人（うち女性9人）の参加で開催した。道本部からは、藤盛副執行委員長に参加していただき、

春闘総決起集会

給与制度の総合的見直し反対！

情勢報告を兼ねて挨拶をしていただきました。

地本の情勢報告では、春闘の取り組み、給与制度の総合的見直しに反対する取り組みについて報告した。

単組からの決意表明では、京極町職佐古岡執行委員長から『再任用制度の条例化』『持家手当の継続支給』『役職加算の凍結解除』の報告と、余市町職労働橋端執行委員長から『基本給独自削減の解消』『持家手当の継続支給』の報告があり、それぞれ単組の状況を、今後の取り組み方針などを表明していただきました。

後志地本通信

2014. 3. 15  
 — 第11号 —  
 自治労北海道  
 後志地方本部  
 〒044-8588  
 俱知安町北1条東2丁目  
 後志総合振興局内  
 TEL 0136-22-6636  
 FAX 0136-21-2105



余市町職労働 橋端執行委員長

単組からの決意表明



京極町職 佐古岡執行委員長



3月15日（土）札幌市・自治労会館で石狩・後志・空知地方本部合同の教宣学習会を開催、各地本管内の単組から16人が参加した。（後志地本からは、真狩村職と岩内町職から2人が参加。）  
 学習会では、自治労北海道本部企画総務部次長の引地圭太さんを講師に招き『自治労の宣伝活動と教宣紙の作り方』についてをテーマに「読んで

もらえる教宣紙」「見出しで魅せる見やすい教宣紙」を作成することを目標に、レイアウトの仕方や見出しの重要性を学んだ。  
 後半は、実際に編集ソフト『パーソナル編集長』を使用しての実践作業。参加者は初めて使用するソフトと慣れない作業に悪戦苦闘しつつもそれぞれの教宣紙を完成させた。  
 教宣紙は、「組合費の領収書」であり、組合の方針や考え方、課題の報告や行事の通知も重要であることを認識し、読みやすく、親しみやすい記事にすることが大事です。  
 現在あまり教宣を発行できていない単組もあるかと思いますが、是非とも定期的な発行につなげていただきたいと思います。

教宣紙は組合費の領収書!!

石狩・後志・空知地本合同教宣学習会